

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	9月	4日	(記入者) 河添正雄	
取材参加者	秋山	大谷	河添	神野	鈴木
	仲	灰藤	東辻		
取材対象先	三郷町：龍田大社の木造獅子・狛犬				

所在地	生駒郡三郷町立野南1丁目29-1				
所有者(取材 対応者)名	龍田大社(三郷町役場 **課長補佐- **文化財技師)(個人情報守秘)		連絡先 0745-43-7343 (三郷町役場)		
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：三郷町役場ものづくり振興課				
市町村 指定文化財	彫刻	4 軀	木造獅子・狛犬 4 軀(2対) 2021 (令和3) 年 3 月16日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	平安後期の大変貴重な美術工芸品であり、同社所有重文「宝相華彩絵鼓胴」と合わせて当時の龍田大社信仰を示す貴重な資料。当初屋外に設置され傷みが激しく、計画的な保存と活用が必要。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	設置されている神楽殿(元拝殿)内に消火器類は見られなかったが、周辺に消火栓が3基設置されていた。	令和2年新築の新しい建物であり、社務所などに人が常駐していることから、特に心配無いと思われる。
獣害対策	被害の有無、対策など 神楽殿は普段閉門されており、動物類は入ってこない。	記入者の感想 新築のガッチリした建造物で、小動物類の入り込む隙間は無いように思えた。
保存～継承 ～ 苦労と 今後の課題 と対策	各社殿は全て檜皮葺であったが、現在本殿以外は経費的な事情で銅板葺きとなっている。檜皮葺の寿命は30年といわれ(前回造営は平成6年)、この度、新たに30年に一度の式年造営制度を斎定され、今回第一回大造営事業として取り組まれるとのこと。龍田大社に限ったことではないが、経費はかかるが技術伝承の意味でも定期的な檜皮葺き替えは必要と思われる。人の育成だけではなく、檜の育成など全国的な問題と思われる。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

三郷町役場 **氏によると管理上の心配はしていないとのこと。周辺住民が氏子となっていることから、維持管理に大きな問題は無いように思えた。

市町村指定取材票《裏》

取材日	2023年	9月	4日	(記入者) 河添正雄	
取材参加者	秋山	大谷	河添	神野	鈴木
	仲	灰藤	東辻		
取材対象先	三郷町：龍田大社の木造獅子・狛犬				

<写真撮影許可済み>

文化財指定名 木造獅子・狛犬 4 軀(2 対)

文化財 (正面写真) 第一殿の獅子・狛犬	文化財 (正面写真) 第二殿の獅子・狛犬
	
文化財 (安置場所の神楽殿)	気になる部位の写真(かすがいで補修)
	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入
「阿」、「吽」2対の獅子・狛犬で三郷町の有形文化財。4 軀ともヒノキの一木造。当初は彩色仕上げとみられるが、現状は素の状態。もとは本殿の2社の底部にそれぞれ1対ずつ置かれていたが、明治期の拝殿の移築に合わせて神楽殿(元拝殿)の中に安置された。均整の取れた体や勇ましい顔立ちの特徴から制作年代は4 軀とも平安時代後期と思われる。	歴代の朝廷からも深く信仰された由緒ある神社で、天御柱大神(志那都比古神)と国御柱大神(志那都比売神)をまつ。祭神は別名を龍田神・龍田風神ともいい、社伝によると、崇神天皇の御代に凶作が続いたとき、夢でこの風神のお告げをうけて創建されたという。名神大社に列し、五穀豊穰・航海安全に靈験有りという。旧社格は最高の官幣大社。今も毎年行われる風鎮祭は天武天皇(675年)に始まると伝わる。(三郷町HPから抜粋)